

患話休題

かんわきゅうだい

37



院長 真崎 雅和



引き続き咳の話 急性？慢性？

- 咳が出てきたら「あれ、風邪かな」と、思わず額に手をやって発熱の有無を確かめることがあ
ると思います。実際に大半はかぜ(感冒)に伴う
もので、長くても2週間とは続かないでしょう。
医学的には3週間以内で治まるものを「急性」、
8週間以上続く場合を「慢性」、その中間のも
のを「遷延性」の咳と分類しています。風邪や感
染(気管支炎や軽い肺炎を含む)に伴うものは
急性の咳で、通常の免疫力をもっている成人な
ら特別な治療をしなくても自然に治ることが
ほとんどです。ただ現実として、始まったばかり
の咳が急性なのか長引くものなのかを患者さ
ん自身が判断することは難しいでしょう。以下
に示したような場合は重症化したり長引いた
りすることがあるので早期受診が必要ですよ。
- ① 小児・高齢者や慢性的な基礎疾患をもち、
免疫力が低下しているか十分でない方
 - ② 高齢者等で誤嚥(むせ)を繰り返す場合
 - ③ 高熱が出て、咳がひどく摂食や睡眠が妨げ
られている場合
 - ④ 激しい痛みや呼吸困難を伴う場合
 - ⑤ 周囲への感染力が強いインフルエンザや重症
化しやすい感染症が流行している時期また
は環境にある場合
 - ⑥ 従来より感染により重症化しやすい方

- 最初は軽い風邪症状でも咳が長引くや
感染症として、マイコプラズマや肺炎クラミジ
ア、百日咳があげられます。初期に診断するこ
とはなかなか難しく、しつこい咳が続いて後
になってようやくわかったのかとわることが多いよ
うです。最近では早期診断する方法が開発され
てきました。まだインフルエンザほどの精度(感
受性)はありません。その他遷延性・慢性化し
やすい咳には次のようなものがあげられます。
- ① 夜間早朝の咳：(咳喘息または気管支喘息)
 - ② 鼻やのどのアレルギー疾患の合併
 - ③ 副鼻腔炎(後鼻漏)の合併
 - ④ 喫煙者として、喫煙歴の長い高齢者
 - ⑤ 逆流性食道炎(ゲップ、胸焼け)を伴う場合
もちろん肺が
んや結核も長引
く咳の忘れては
いけない原因で
すので、咳が長引
いた場合は早め
に専門医に相談
してください。



診察時間が近づいたことを
お知らせする

メールサービスを
約30分前

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	休診	△ 3:00 ~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3